

デザインのチカラ

“呉市川尻・安浦地域包括センター”に活気を！

“阿賀特別支援学校への画期的本棚”

建築学科 5年 藤原 一輝 大段 蒼真 喜田 雅生

信藤 日和 正木 優菜 松田 直

建築学科 3年 木舎 那都美

1. 活動目的

1.1. デザインのチカラ “呉市川尻・安浦地域包括支援センター”に活気を

本プロジェクトの目的は 2018 年の豪雨災害により被災した川尻、安浦地域の活性化である。災害直後はライフラインが止まり、活気がなく落ち込んでいた川尻、安浦地域だが、地域を盛り上げようとボランティアの方々が駆けつけたらしい。そこでは地域おこしの活動や楽しいイベントなどが開催されていた。しかし、災害から約3年が経ちボランティアの方々も被災地域のことを考え、前向きな撤退をされたが、そうなると思わなかったのにまた災害直後のようになってしまっているのではなにかと私たちは考え、そこで地域の活気を継続させたいと思い、このプロジェクトに取り組むことにした。

1.2. 阿賀特別支援学校への画期的本棚

活動目的は阿賀特別支援学校から担当教員を通して本棚の作成依頼があったこと、そしてお互い阿賀区域にあることからイベントを開催したときに親しくなりやすいと思いきい請け負った。

2. 活動計画

2.1. 日程計画

日程計画を以下に示す。しかし、新型コロナウイルスの影響により、計画通りには行えなかった。

5・6月：子供用おままごとキッチンの作成。

7月：制作物を持っていく・意見を聞く。

安浦で収穫された野菜を置く棚の制作。

8月：夏休み

9・10・11月：新たなものを作成。安浦

12月：制作物を持っていく・意見を聞く。

1月：冬休み 新しい依頼があればそれを取り組む。

2・3月：新しい依頼があればそれを取り組む。制作物を持っていく・意見を聞く。

2.2. 予算計画

学生の夢実現プロジェクトで 10 万円をいただいた。そのうち 85000 円を材料費（作成にかかる木材や金属、塗料等）に、15000 円をヒアリングなどの旅費に当てた。

3. 活動内容、活動実績

3.1. 活動内容

私たちの活動の流れを以下に示す。

①デザインの提案

いくつかの班をつくり、それぞれの班ごとにデザインを考える。そしてそのデザインを設計図におこす。

②案を形にする

班ごとに作成した設計図をもとに作成する。施策を繰り返し、完成品を作る。

③塗装

木工塗料などを用いて塗装を行う。

④依頼先との話し合い

私たちに依頼してくださった方との話し合いの場を設ける。

⑤引き渡し

完成品の引き渡しを行う。さらに必要なもの

があれば、新たに制作を始める。

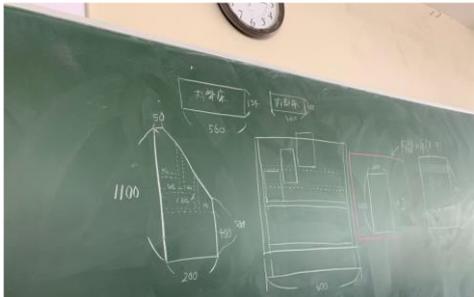


図1 作業風景①



図2 作業風景②



図3 作業風景③

活動内容の発信やイベントの企画なども並行して行った。活動の発信としては Twitter¹⁾・Instagram²⁾のアカウントを作成し、活動の様子や制作したものなどを投稿することで私たちの活動についての発信を行った。また、イベントの企画としては、支援センターで行われている認知症カフェや子育て支援サークル等のイベントに参加し、子ども木工教室や古い家具のリペア講座等を主催した。



図4 認知症カフェの様子

- 1) デザインのチカラ “呉市川尻・安浦地域包括支援センターに活気を！” @designpowerIW
- 2) デザインのチカラ@design_power_iw

3.2. 活動実績

本インキュベーションワークの活動実績は主に以下の通りである。

- ・イベントの看板作成
- ・阿賀特別支援学校様から依頼された本棚
- ・地域包括支援センター様から依頼された商品棚
- ・地域包括支援センター様から依頼された小物置き棚
- ・地域包括支援センター様から依頼された子供用のおまごとキッチン



図5 イベントの看板



図6 作成中の本棚

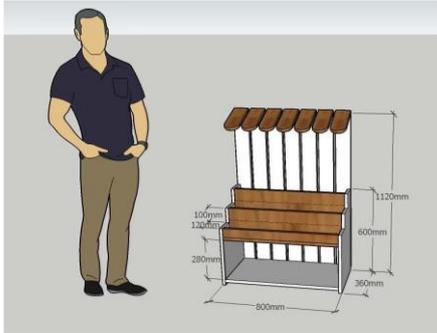


図7 本棚のデザイン案



図8 商品棚



図9 小物置き棚



図10 おままごとキッチン

- ・依頼者の求める物を作成して提供することで地域の高齢者や子育て世代、子供たちのコミュニケーションの中心の場となる。
- ・定期的にものづくりイベントを開催することで絶えず地域の人たちが集まる場所になる。
- ・地域の人たちと積極的に交流をしていくことで地域とのつながりが密になる。

5. 総括

今年度の活動はコロナの影響を強く受けた。依頼者のもとに足を運ぶ機会を十分に得られなかったため、依頼者の要望と私たちのデザインをすり合わせていくことが上手く出来なかった上にオンライン授業のため学校での作業が計画通りに進まなかった。しかし、そんなコロナ禍の中でもメンバー同士でデザイン案を出し合い、最終的には形にするところまで持って行けた点では良かったと思う。

4. 活動により得られる成果

私たちの活動により得られる3つの成果を以下に示す。